

| 曜日                | 月曜日 | 火曜日           | 水曜日            | 木曜日  | 金曜日  | 土曜日                              |
|-------------------|-----|---------------|----------------|------|------|----------------------------------|
| 第 1 診察室           | 午前  | 松尾晃樹          | 松尾晃樹           | 松尾恵輔 | 松尾晃樹 | 松尾恵輔                             |
|                   | 午後  | 松尾恵輔          |                |      | 午後休診 | 松尾恵輔                             |
| 第 2 診察室           | 午前  | 松尾恵輔          | 春田祐郎           | 春田祐郎 | 松尾泰治 | 松尾晃樹                             |
|                   | 午後  | 春田祐郎<br>(甲状腺) |                |      | 午後休診 | 松尾晃樹                             |
| 第 3 診察室           | 午前  | 清家圭介          | 清家圭介           | 平松万尚 | 宮川美子 | 小松万寿美                            |
|                   | 午後  | 平松万尚          | 保田智之<br>(宮川美子) | 平松万尚 | 午後休診 | 小松万寿美<br>②④ (平松万尚)<br>①③⑤ (松尾泰治) |
| 第 4 診察室           | 午前  |               |                | 松尾泰治 |      | 春田祐郎                             |
|                   | 午後  |               |                |      |      |                                  |
| 内視鏡センター<br>(内視鏡室) | 午前  | 松尾泰治          | 佐野村洋次          | 松尾晃樹 | 松尾恵輔 | 平松万尚                             |
|                   | 午後  | 平松万尚<br>松尾泰治  | 佐野村洋次          | 宮川美子 | 午後休診 | 平松万尚                             |
| リハビリ室             | 午後  |               |                | 関 聰介 |      |                                  |

休診日 日・祝日・木曜日午後  
 受付時間 午前 8 時 30 分～正午・午後 2 時 30 分～5 時  
 (木曜日は午後休診です。)  
 診察予約 診察の予約を受け付けています。  
 (平日 午前 8 時 30 分～午後 4 時 30 分まで)  
 平日予約専用電話 (フリーダイヤル) 0120-33-5638 も  
 ご利用ください。



当院は、(財)日本医療機能評価機構の認定病院です。

(機能種別版評価項目 3rdG: Ver.1.0)  
 (認定期間: 2014/3/7 ~ 2019/3/6)

- 交通のご案内…JR 三原駅・三原港から徒歩 5 分 JR 三原駅—三原港経由無料シャトルバスを運行中。詳しくは受付にお尋ね下さい。
- 駐車場 35 台完備



松尾内科病院広報誌  
 平成29(2017)年10月号

医療法人 杏仁会  
**松尾内科病院**

〒723-0014 広島県三原市城町三丁目7-1  
 TEL(0848)63-5088 FAX(0848)63-0658  
<http://www.mihara-matuohp.or.jp>

- RevolutionCT の紹介…………… 1
- 副院長ごあいさつ…………… 2
- 看護部紹介・名誉院長講演…… 3
- 外来診療のご案内…………… 4



## 新規CTの紹介

9月18日、台風18号が通り過ぎた快晴の朝、当院6代目64列MDCCTが搬入されました。

当院、初代CTが導入されたのが、1986年8月、既に30年以上前の出来事となりました。

装置はコンベンショナルスキャンからヘリカルスキャンへ、検出器も単列検出器から多列検出器・フルデジタル検出器へと想像を超える進歩を遂げています。

5代目CTとの大きな違いは次の4項目です。

- ①「逐次近似画像再構成法の搭載」被ばく線量低減技術で、被ばく線量最大40%低減においても、画質を損なうことなく臨床に適した画像が提供できます。
- ②「臓器別線量変調撮影の搭載」放射線の感受性が高い臓器への対策として、眼窩・乳腺レベルでの表面線量被ばくをさらに最大40%抑える事ができます。
- ③「金属アーチファクト低減機能の搭載」フルデジタル検出器搭載でハードウェアからのノイズを44%低減出来ます。
- ④「高速ルーチン撮影の実現」胸部～骨盤下まで5秒で撮影ができ、患者さんへの負担もさらに軽減されています。

これらの装置の機能「高速・高画質・低被ばく」を十分に活かし、患者さんにとって、より安全で、より安楽に、そしてより正確な画像が提供出来るよう放射線科一同 がんばります！  
 放射線科 岩本

## 医療法人 杏仁会の理念

医療法人杏仁会は、愛と勇気と英知を持って、地域のみなさまに信頼される質のよい医療と介護を提供し、地域社会の一員として責任をはたし貢献します。

- 1 誠実な医療と介護福祉を行います。
- 2 確実な知識と技術を大切にします。
- 3 堅実な経営を行います。

## 松尾内科病院の基本方針

- 1 私達は、患者さんの権利を尊重し、信頼と満足が得られる医療サービスを提供します。
- 2 私達は、内科専門病院として、地域との密接な連携を保ち、科学的で、質の高い医療サービスを提供します。
- 3 私達は、安心・安全かつ効率的で公正な医療を行います。
- 4 私達は、情報を開示し、説明と同意に基づく医療を行います。
- 5 私達は、確実な知識と技術の向上を図り、人材の育成・確保に努めます。
- 6 私達は、健全な経営を行い、安心して働ける職場をつくりまします。



発行 医療法人 杏仁会 松尾内科病院 広報誌編集委員  
 広島県三原市城町三丁目7番1号 TEL0848-63-5088 FAX0848-63-0658





# 地域の皆様に、安心・安全で質の高い医療を提供します



## ごあいさつ



医療法人 杏仁会  
松尾内科病院 副院長

平松 万尚

現代は、医学の発展とともに専門分化、細分化された医療となっています。大学病院や基幹病院では臓器別に細かく診療科が分けられ、専門性の高い診断や治療を行っています。しかし地域の病院で今、最も必要

とされているのは、それとは逆に、臓器や疾患を限定せずに全てに対応することが出来る総合内科医です。この10年程で総合診療の概念は周知され、全人的医療のできる総合内科医が育成されています。私もその先駆けとして岡山大学病院で総合診療に従事してまいりました。地域での医師不足が問題となる中、あらゆる疾患に対しても広い知識で的確に診断し、複数合併する疾患に対しても一元的に捉える能力を持つことが重要であると考えています。これまでの経験を生かし、地域の病院においても根拠に基づいて早期診断、早期治療を行いながら、高度の治療が必要な場合は専門性の高い病院への橋渡しができればと思っています。

今後もこの地域の皆様に、あらゆる疾患でも気軽に相談できる風通しの良い医療をすすめていきます。今後とも宜しくお願いいたします。

## ごあいさつ



医療法人 杏仁会  
松尾内科病院 副院長

松尾 泰治

この平成29年7月より副院長を拝命いたしました。地域での診療を行うなかで、患者様の訴えの一つ一つに答えてゆけるよう、努めてまいります。

産業医も兼任しており、健診などで生活習慣病になりかけている方を見る機会がよくあります。生活習慣病を防ぐために、予防医学が以前より提唱されています。予防接種を受けたり特定健診で生活習慣改善を促す事で、病気にならないよう処置・指導する事を一次予防と言います。二次予防は、がん検診などのように、

病気を早期発見・早期治療して病気の重症化を防ぐことです。何事も早めの対応が肝心であります。内服しなくてもよい期間を延ばす、または内服薬を増やさないためにも生活指導、習慣改善に取り組んでゆきたいと思っております。

当院も開院して40年、地域の皆さまとともに歩んで参りました。これからも、地域の皆さまに、安心・安全で質の高い医療を提供できるよう取り組んでまいります。どうぞよろしく申し上げます。



## 看護部紹介

日本看護協会前副会長の久保清子氏による講演を、当院で平成29年3月17日に開催しました。講演内容は、「地域包括ケア時代に求められる医療・介護の専門職としての取り組み」でこれから求められる看護の力を強調されました。特に、①看護実践能力の向上、②院内外との多職種との協働をあげられました。

当院の看護部理念は、「患者の立場で考える」で看護の専門性を発揮し、常に患者の立場に立って、心の通い合う看護を提供することを目指しております。

その中で、より看護力を発揮して取り組んでいる「排泄ケアの質向上」と「ポジショニングチーム」におけるリハビリ科との連携について紹介いたします。

平成26年9月より「個別性の高い排泄ケア」を目指して、TENAのオムツを導入しております。導入前は以下の3点の課題がありました。

1. オムツ交換回数が多く患者の安眠の妨げとなっている
2. 尿・便の漏れ防止のためにオムツを重ね使用し、蒸れて不快である
3. オムツ交換後のゴミの量が多い

TENA オムツの導入に際し、CST（排泄ケアサポートチーム）を立ち上げ、スタッフ一人一人が正しい当て方と、オムツ選択のアセスメントができるように研修会を重ねました。

導入当初は、オムツが正しく当てられていなかったり、オムツ選択が間違っただけであるために尿・便の漏れが生じることもありました。そのような問



久保清子先生をかこんで

題が起こった時には、その都度カンファレンスで情報共有し、なぜ漏れたのかを分析後、その患者さんにあったオムツを再度検討し選択しております。

個々の患者さんに応じたオムツを選択することで以下の改善がありました。

1. オムツ交換回数の減少
2. 交換時間の短縮
3. 夜間業務の負担軽減
4. トータルコストの削減

このような改善が患者満足度向上にもつながっております。

また、リハビリ科と連携し、ポジショニングにも力を入れております。毎週開催しているカンファレンスでは、個々の患者さんに適したクッションを選択し、ポジショニングの写真を掲示してスタッフ全員が統一したポジショニングが実践できるようにしております。平成28年度の褥瘡発生率は0.07%と低い値であり、今後も多職種と連携し褥瘡予防に努めていきたいと思っております。



国際ソロプチミスト三原  
「癌予防の普及推進」について  
— 消化器癌と乳癌 — 人生しなやかに生きる

平成29年9月20日(水)

三原ロータリークラブ 癌予防推進委員  
松尾内科病院 松尾恵輔名誉院長

癌予防と早期発見・早期治療について講演を行いました。